

## 開設 10 周年記念フォーラムを開催しました

「妊娠と薬情報センター」開設 10 周年を記念して、平成 27 年 11 月 3 日(火・祝)京王プラザホテルにて開催いたしました



開会の辞  
国立成育医療研究センター  
賀藤 均 院長

—特別講演—

「妊娠・授乳中の薬物療法」

トロント大学 小児科教授  
伊藤 真也 先生



「妊娠と薬情報センター10年の歩み」

妊娠と薬情報センター  
村島 温子 センター長



「妊娠・授乳中の安全性に関する安全対策課の取り組み」

厚生労働省 医薬・生活衛生局 安全対策課  
宇津 忍 課長





「妊娠・産褥期におけるメンタルヘルスの現状と課題」

順天堂大学医学部附属 順天堂越谷病院メンタルクリニック  
鈴木 利人 先生

—セミナー—

～診療ガイドラインに妊娠と薬情報センターをどう役立ててもらうか～



「診療ガイドライン作成の実際」

国際医療福祉大学 化学療法研究所附属病院  
吉田 雅博 先生

「腎疾患患者の妊娠」

東京女子医科大学 学生健康管理センター・腎臓内科  
内田 啓子 先生



「炎症性腸疾患と妊娠」

横浜市立大学附属市民総合医療センター・炎症性腸疾患  
(IBD)センター  
国崎 玲子 先生



「腎疾患とIBDに関連した薬剤の妊娠・授乳中の安全性について」

妊娠と薬情報センター  
中島 研



「産科ガイドラインと『妊娠とくすり』」

茨城県立中央病院長  
吉川 裕之 先生



パネルディスカッション ～右から

伊藤先生、鈴木先生、吉田先生、内田先生、  
国崎先生、吉川先生、中島 研





満席の会場の様子



—演者の先生方を囲んで— 前列右から(敬称略)

吉田雅博、宇津忍、俵木登美子、伊藤真也、村島温子、賀藤均、国崎玲子、鈴木利人、内田啓子、中島研  
後列は国立成育医療研究センター妊娠と薬情報センタースタッフ